

高次脳機能障害者の就労に役立つ

視聴覚教材

障害者職業総合センター 職業センター

<https://www.nivr.jeed.go.jp/center/>

本日の内容

1. 視聴覚教材の紹介
2. 視聴してみよう
～教材ダイジェスト版上映（25分程度）
3. 活用ポイント・事例紹介
4. 意見交換
「視聴覚教材の使い方をみんなで考えよう」
5. まとめ



1. 視聴覚教材の紹介

技法開発の背景



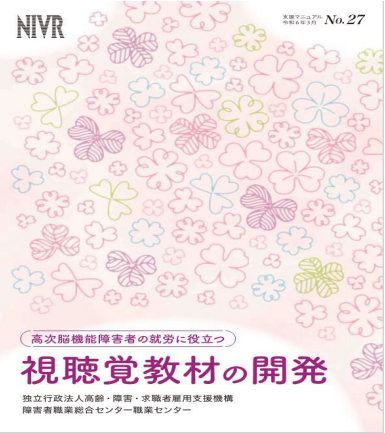




支援者

「グループで取組むカリキュラムではなく、**個別**に対応できる教材を開発してほしい」

「映像や画像を見ながら**対象者と支援者が一緒に学べる教材**がよい」

「オンライン支援を実施する際に**在宅で取り組める教材**がほしい」

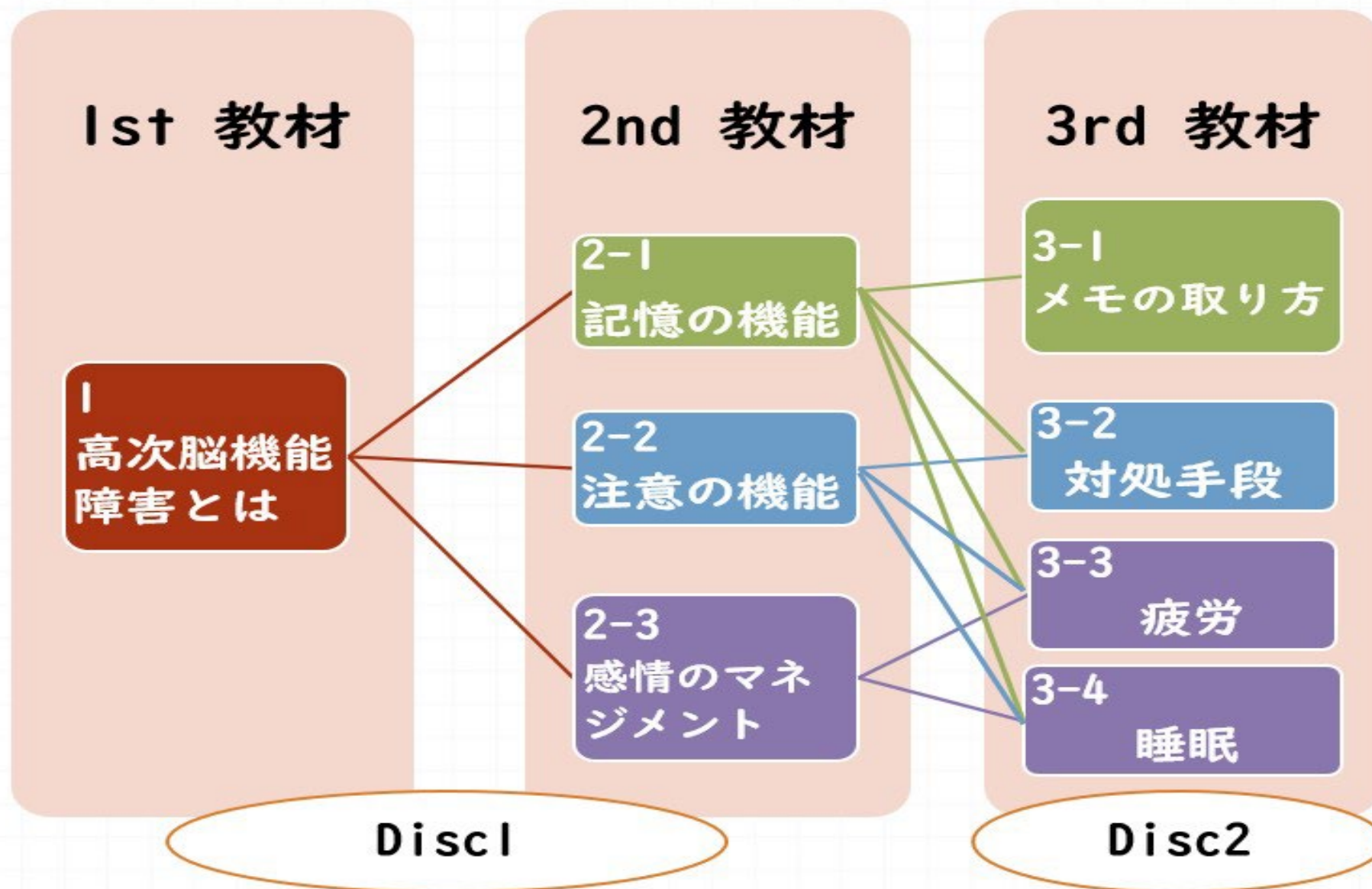
視聴覚教材の構成

	表紙	収録Disc	Disc内容
視聴覚教材の開発			<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・高次脳機能障害 特性 チェックシート ・対処策リスト255
活用ガイド		 	<p>Disc1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害とは ・記憶の機能 ・注意の機能 ・感情のマネジメント <p>Disc2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモの取り方 ・対処手段 ・睡眠 ・疲労

各教材の視聴時間等

	教材名	Disc	視聴時間	チャプター数
1st教材➡	高次脳機能障害とは	Disc 1	21分34秒	1～7
2nd教材 {	注意の機能	Disc 1	28分12秒	1～5
	記憶の機能	Disc 1	31分54秒	1～6
	感情のマネジメント	Disc 1	23分50秒	1～4
3rd教材 {	メモの取り方	Disc 2	26分1秒	1～8
	対処手段	Disc 2	20分36秒	1～7
	疲労	Disc 2	20分48秒	1～4
	睡眠	Disc 2	15分55秒	1～5

各教材の関連図



各教材の内容(高次脳機能障害とは・記憶の機能)

1 高次脳機能障害とは

紹介する内容

1. 高次脳機能障害の原因

2. こんなことはありませんか？【記憶障害】

3. こんなことはありませんか？【注意障害】

4. こんなことはありませんか？【遂行機能障害】

5. こんなことはありませんか？【行動と感情の障害】

6. こんなことはありませんか？【失語症】

7. こんなことはありませんか？【半側空間無視】

2-1 記憶の機能

紹介する内容

1. 記憶のプロセス

2. 記憶の技～記憶の対処手段～

3. 未来のことを覚えておく～展望記憶～

4. 記憶の道具～記憶の対処手段～

5. まとめ

各教材の内容(注意の機能・感情のマネジメント)

2-2 注意の機能

紹介する内容

1. 注意の4つの機能

2. 続けられる力

3. 見つけられる力

4. 同時に注意を向ける力

5. 切りかえる力

6. まとめ

2-3 感情のマネジメント

紹介する内容

1. 感情とは

2. 刺激(状況)を変えてみよう

3. 評価(捉え方)を変えてみよう

4. まとめ

各教材の内容(メモの取り方・対処手段)

3-1 メモの取り方

紹介する内容

1. 指示内容についてのメモ
2. スケジュールについてのメモ
3. ToDo(しなければならないこと)についてのメモ
4. 重要なことについてのメモ
5. 作業内容を整理するためのメモ
6. タスクに必要な作業時間を見積もるためのメモ
7. アプリケーションの活用
8. メモを効果的に活用するために(まとめ)

3-2 対処手段

紹介する内容

1. マーカーをつかった対処
2. ポインティングをつかった対処
3. 定規やものさしをつかった対処
4. 拡大鏡(ルーペ)をつかった対処
5. 付箋をつかった対処
6. 書見台をつかった対処
7. アシスティブテクノロジーの活用

各教材の内容(疲労・睡眠)

3-3 疲労

紹介する内容

1. 疲労とは

2. 疲労への対処

3. 疲労をためないために

4. まとめ

3-4 睡眠

紹介する内容


1. 「睡眠」の役割とは

2. 睡眠時間について

3. 質の良い睡眠につながる過ごし方

4. 睡眠に悪影響を及ぼすもの

5. まとめ



2. 視聴してみよう

視聴覚教材 ダイジェスト版

視聴方法



【準備するもの】

- Disc
- Discが再生できる機器(再生デッキやPC)
- ワークシート(2in1で両面コピー)
- 筆記用具
- 活用ガイド



【活用ガイド】

視聴にあたり、操作が必要な画面と、ワークシートへの記入方法について記載しています。

対処手段

紹介する内容

1. マーカーをつかった対処

2. ポインティングをつかった対処

3. 定規やものさしをつかった対処

4. 拡大鏡(ルーペ)をつかった対処

5. 付箋をつかった対処

6. 書見台をつかった対処

7. アシスティブテクノロジーの活用

8. まとめ

皆さんは確実に物事を行うために 普段から対処していることはありますか？



1. マーカーをつかった対応

【 マーカーをつかった対処 】



主な効果

- 注目したい箇所を目立たせることができます。
- しるしをつけた箇所に絞って見ることができます。

業務改善プロジェクトメンバーの皆様へ

このたび、各部署からメンバーを集めて業務改善プロジェクトを発足することとなりました。皆様には、そのメンバーとして、職場で起こりうるさまざまな課題について自由に意見を出し合い、改善策に関する検討結果を報告レポートとして提出していただきます。

今回は、「業務効率化」をテーマとします。
皆様は各職場で経験した課題を共有しながら、よりよい改善策を検討してください。
改善策には、職員一人ひとりの対策と職場全体の対策の両方の視点を入れてください。

なお、報告レポートは、別添の様式に手書きで記入する、または、Wordなどで作成してください。
提出期限は 11月 11日 16時です。

以上、よろしくお願いします。

作業のポイント

総務部総務課 業務改善プロジェクト担当：葛張

大事な箇所に
マーカーを引く

【 マーカーをつかった対処（パソコンの場合） 】

この動画では、マーカーをつかった対処をお伝えしています。

この動画では、マーカーをつかった対処をお伝えしています。

色を変える

この動画では、マーカーをつかった対処をお伝えしています。

塗りつぶす

2. ポインティングをつかった対応

【 ポインティングをつかった対処 】



主な効果

- 指を当てた箇所に絞って見ることができます。

※一字ずつ声に出して読み上げながらポインティングするとより正確になります。

9 2 1 2 2 7 5 6 6 4 2 7

9 2 1 2 2 9 5 6 6 4 2 7



文章のポインティング

数字・数列の
ポインティング

注意機能について、職業リハビリテーションの場面では覚醒（覚度）はある程度保たれていることが基本であり、処理速度や容量は記憶など他の認知機能の影響が大きいため、本カリキュラムでは①持続性注意、②選択性注意、③分配性注意、④転換性注意の4つの機能に焦点を当てることにしました。

注意機能について、職業リハビリテーションの場面では覚醒（覚度）はある程度保たれていることが基本であり、処理速度や用量は記憶など他の認知機能の影響が大きいため、本カリキュラムでは①持続性注意、②選択性注意、③分配性注意、④転換性注意の4つの注意に焦点を当てることにしました。

●体験1

ポインティングをしてみよう！！

ポインティングをつかって、上下の数列を見比べて、
下の数列の誤った数字を見つけてみましょう。

4 5 2 6 8 8 1 2 2 9 5 7

4 5 2 6 8 8 1 2 2 8 5 7

4 5 2 6 8 8 1 2 2 9 5 7



4 5 2 6 8 8 1 2 2 8 5 7

ポインティングをつかって、上下の文章を見比べて、
下の文章の誤った箇所を見つけてみましょう。

今日は高次脳機能障害の対処手段について、
考えていく動画を視聴しました。皆さんは
どのような感想を持ちましたか。

今日は高次脳機能障害の対処手段について、
考えていく動画を視聴しました。皆さんは
どのような感動を持ちましたか。

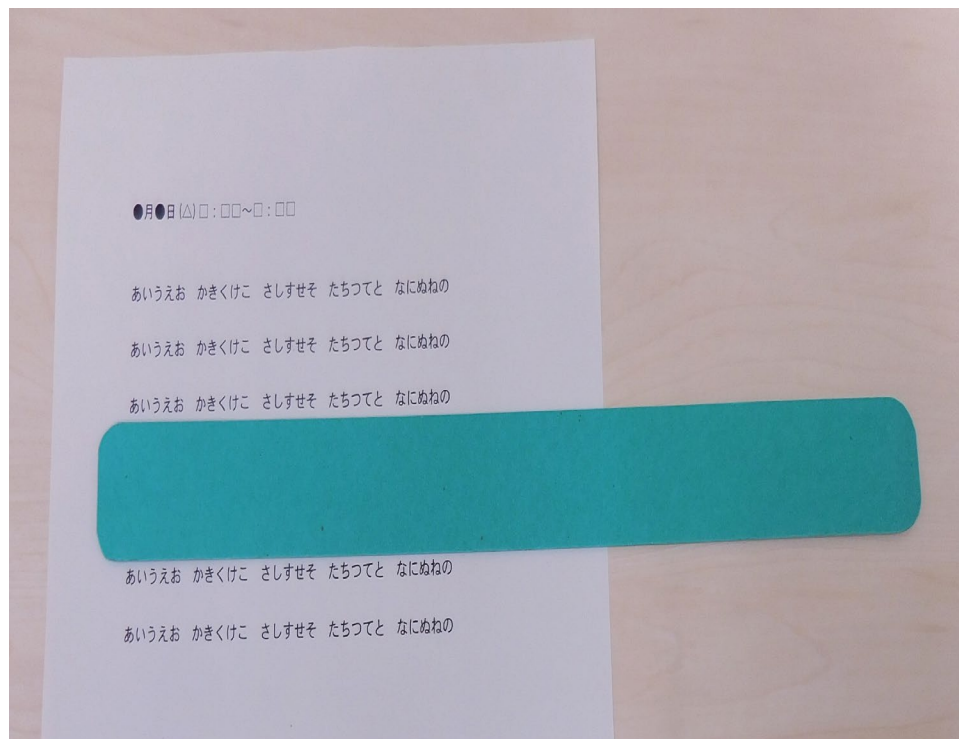
今日は高次脳機能障害の対処手段について、
考えていく動画を視聴しました。皆さんは
どのような感想を持ちましたか。



今日は高次脳機能障害の対処手段について、
考えていく動画を視聴しました。皆さんは
どのような感**動**を持ちましたか。

3. 定規やものさしをつかった対処

【 定規やものさしをつかった対処 】



主な効果

- 不要な情報は隠しながら、定規やものさしを当てた箇所に絞って見ることができます。

今日は高次脳機能障害の対処手段について、
考えていく動画を視聴しました。皆さんは
どのような感想を持ちましたか。

L字型

今日は高次脳機能障害の対処手段について、
考えていく動画を視聴しました。皆さんは
どのような感想を持ちましたか。


- ・見本と自分が作成した書類
 - ・パソコン画面と手元の書類
- を見比べるときに便利！

4 6 8 8 1 2 2 9 5 7

4 6 8 8 1 2 2 8 5 7

●体験2

定規やものさしをつかってみよう！！

 定規やものさしをつかって、上下の文章を見比べて、
下の文章の誤った箇所を見つけてみましょう。

平成26年度の生物多様性アクション大賞では、全国から
124の応募がありました。その中から特に優れた取組とし
て、「まもろう部門」を受賞した「まるやま組（石川県輪島市
の市民団体）」の取組「アエノコト」が大賞に選ばれました。

平成26年度の生物多様性アクション大賞では、全国から
124の応募がありました。その中から特に優れた取組とし
て、「まもろう部門」を受賞した「まるやま組（石川県輪島市
の市民団体）」の取組「アエノコト」が大賞に選ばれました。

平成26年度の生物多様性アクション大賞では、全国から124の応募がありました。その中から特に優れた取組として、「まもろう部門」を受賞した「まるやま組（石川県輪島市の市民団体）」の取組「アエノコト」が大賞に選ばれました。

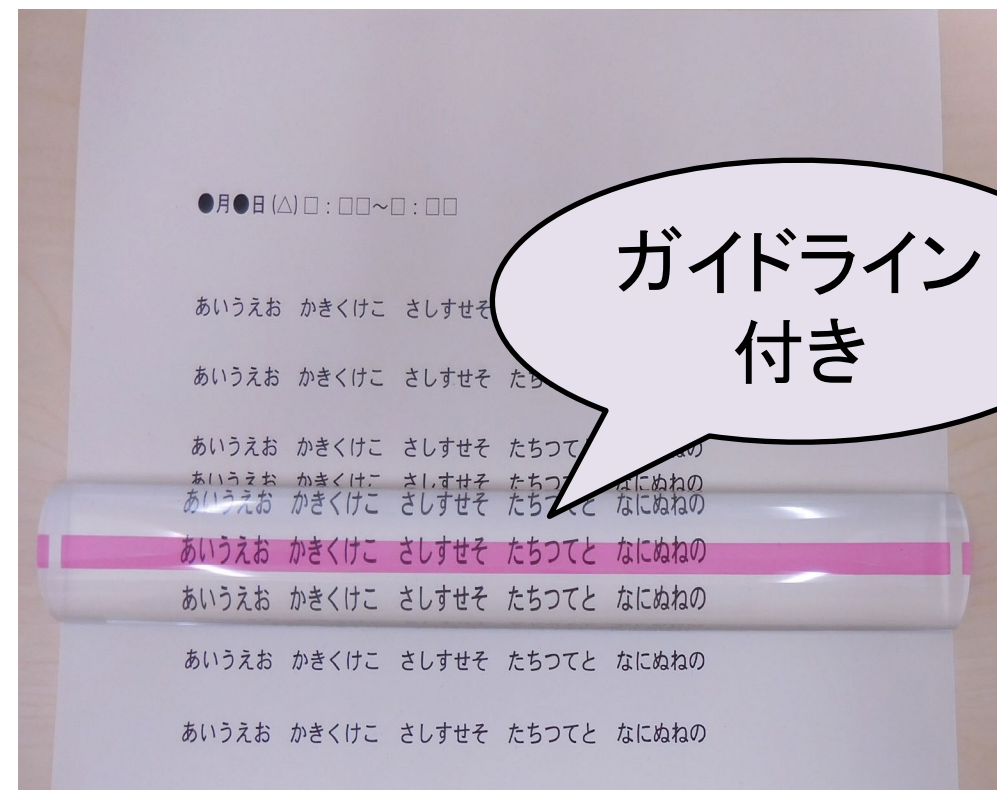
賞

平成26年度の生物多様性アクション大賞では、全国から124の応募がありました。その中から特に優れた取組として、「まもろう部門」を受賞した「まるやま組（石川県輪島市の市民団体）」の取組「アエノコト」が大賞に選ばれました。

石

4. 拡大鏡(ルーペ)をつかった対処

【 拡大鏡(ルーペ)をつかった対処 】



主な効果

- 細かな文字や数字を拡大して見ることができます。

5. 付箋をつかった対処

【 付箋をつかった対処 】

不良率 = 不良数 ÷ 作業量 × 100
個人は、小数点以下第2位を四捨五入
総計は、小数点以下第3位を四捨五入

集計者氏名: 田中
課題No: / - ① - / 作業日: 2003年 11月 17日 集計対象日

作業担当者名	作業結果	焼き付け数	成形部品組立	電機部品差込	部品組立確認
下田 良輔	作業時間	16分	20分	0	0
	作業量	230	222	0	0
	不良数	12	20	0	0
	不良率	5.2%	9.0%	0.0%	0.0%
	作業時間				
	作業量				
	不良数				
	不良率				
	作業時間				
	作業量				
	不良数				

主な効果

- 仕事のポイントや注意事項、変更点などを付箋に書き、パソコンや手帳等に貼って確認できます。



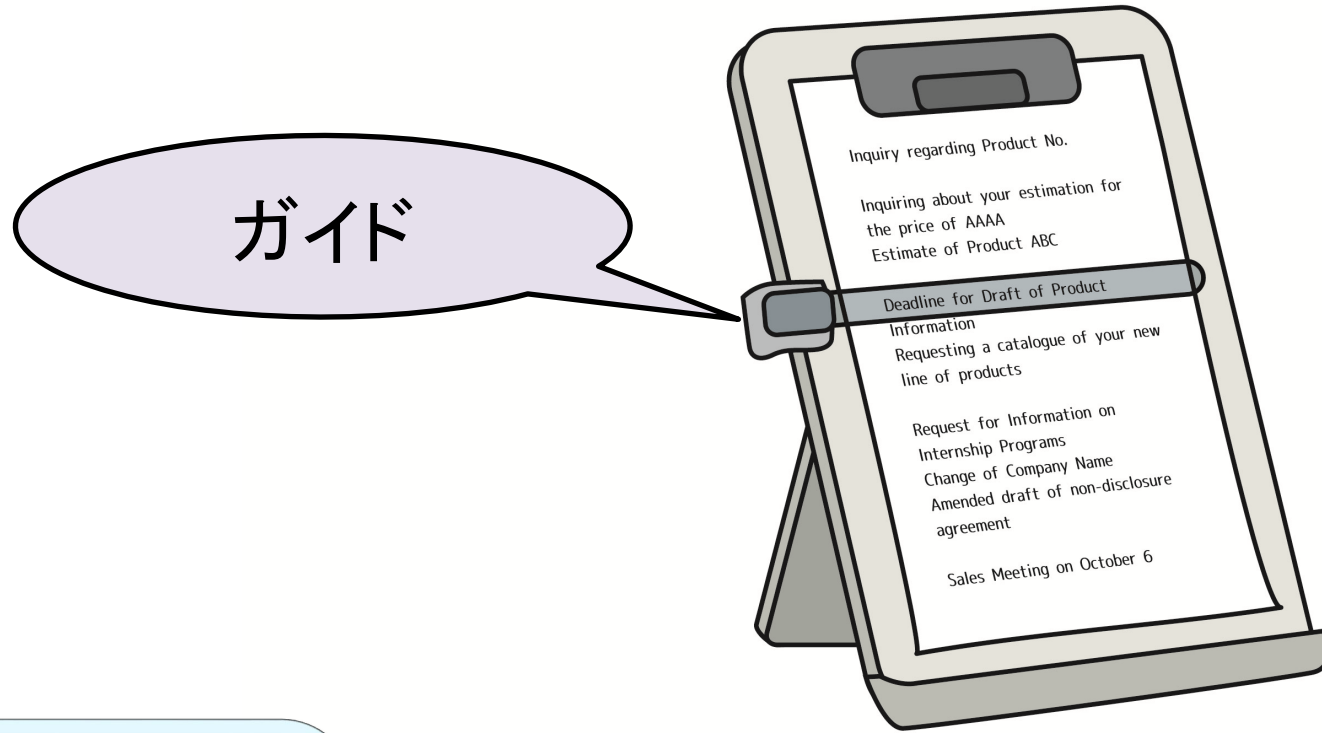
ミスを出さないように、作業の重要ポイントを付箋に書いてPCに貼っておく！

忘れないように、締め切りの時間を付箋に書いてPCに貼っておく！



6. 書見台をつかった対処

【 ガイド付き書見台 】



主な効果

- 目につきやすい場所に置いて書類等を確認できます。
- ガイドを注目させたい箇所に当てて絞って見ることができます。



手順書やテキスト
などを置く



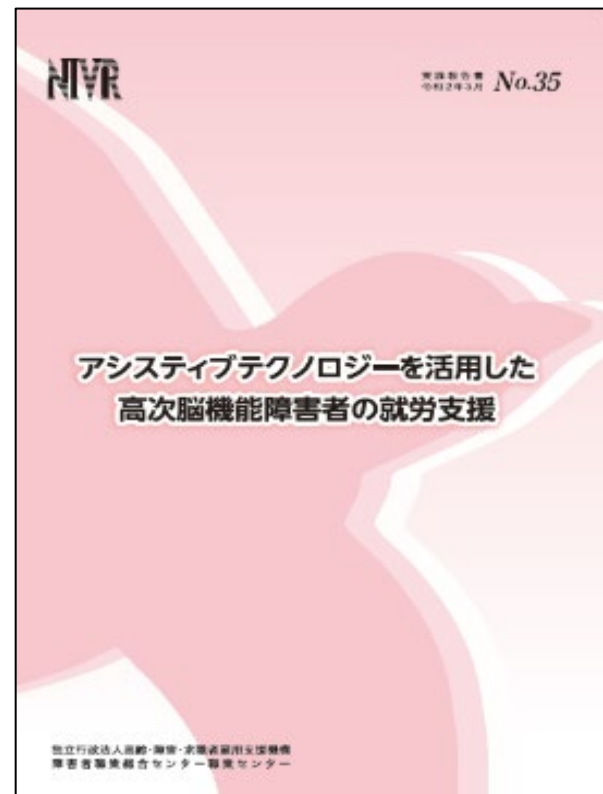
ガイドを注目する
箇所にあてる



確認しながら作業
を進める

7. アシスティブテクノロジーの活用

【 アシスティブテクノロジーをつかって確認する 】



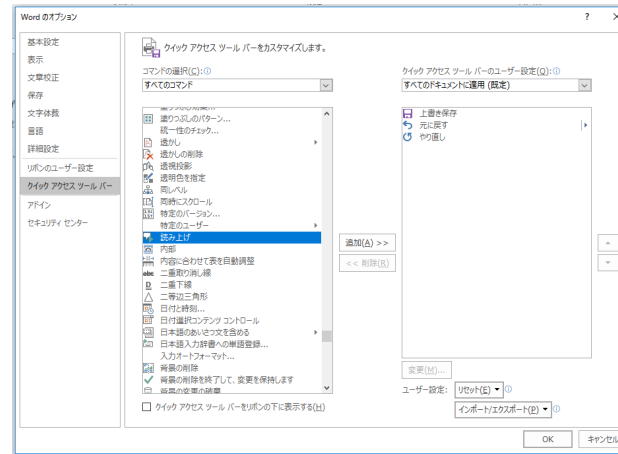
アシスティブテクノロジーとは？
パソコンやスマートフォン、タブ
レット端末などを障害状況に合わせ
て対処手段として活用すること。



<https://www.nivr.jeed.go.jp/center/report/practice35.html>

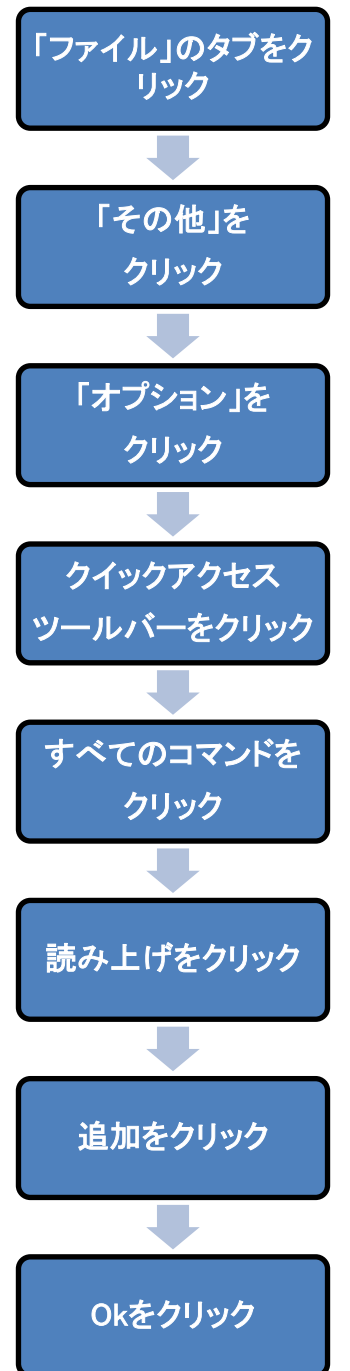
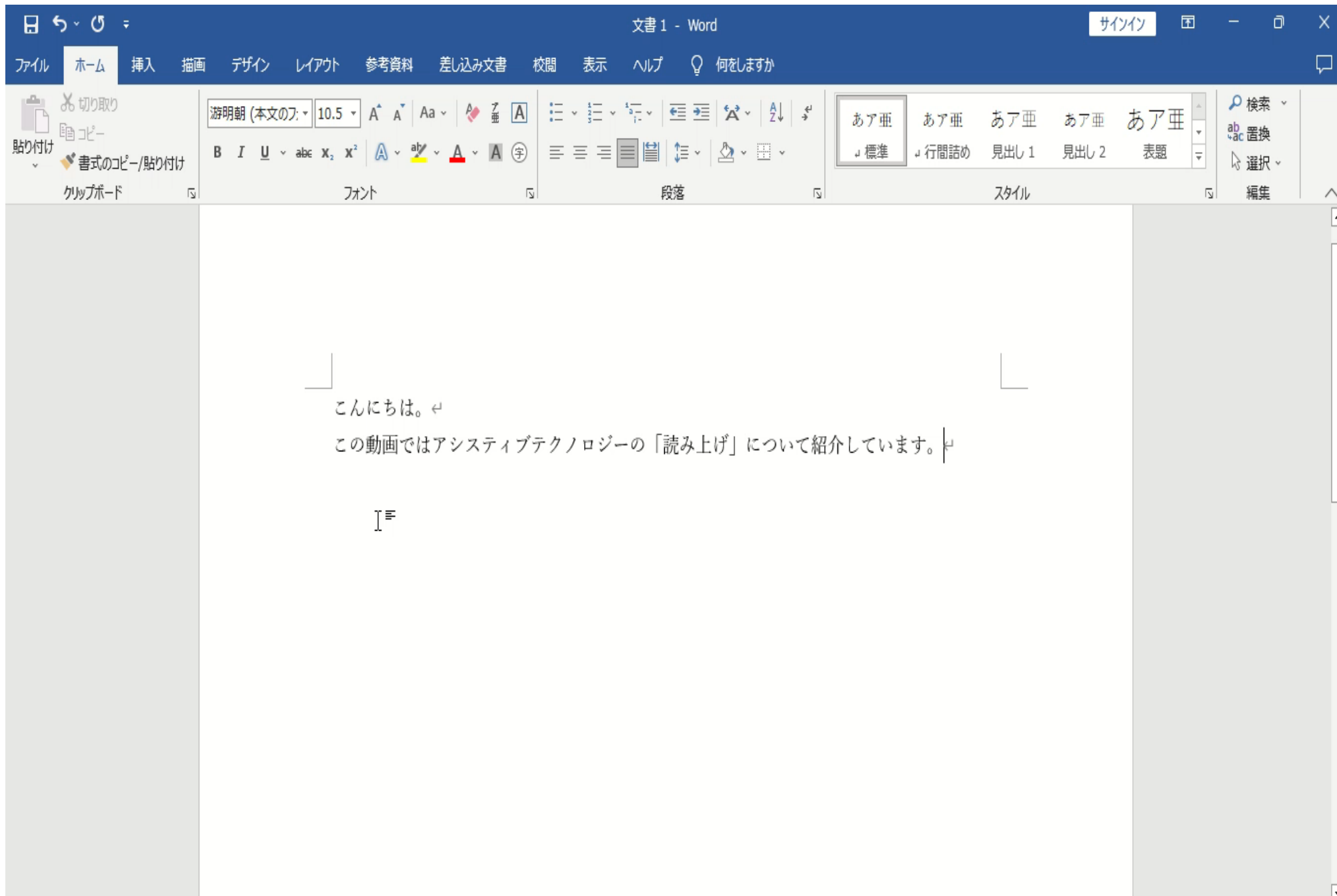
【 アシスティブテクノロジーをつかって確認する 】

Microsoft Office の標準機能「 **読み上げ** 」(Word、Outlook、PowerPoint)



使用目的

- 文書の内容を耳で聴いて確認することができる。
- 読めない漢字を読み上げてもらうことができる。



【 アシスティブテクノロジーをつかって確認する 】

Windowsの標準機能「

拡大鏡

」

●拡大鏡起動

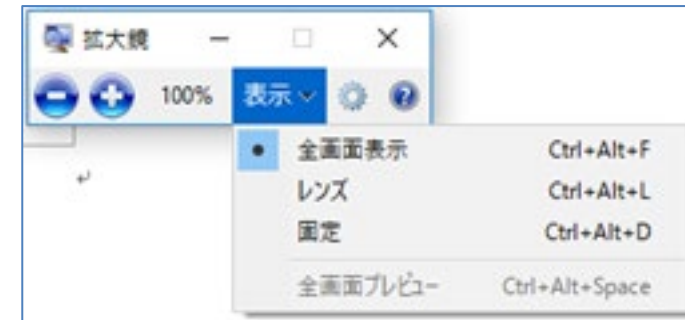


Windows ロゴ キー + (+) キー

●拡大鏡終了

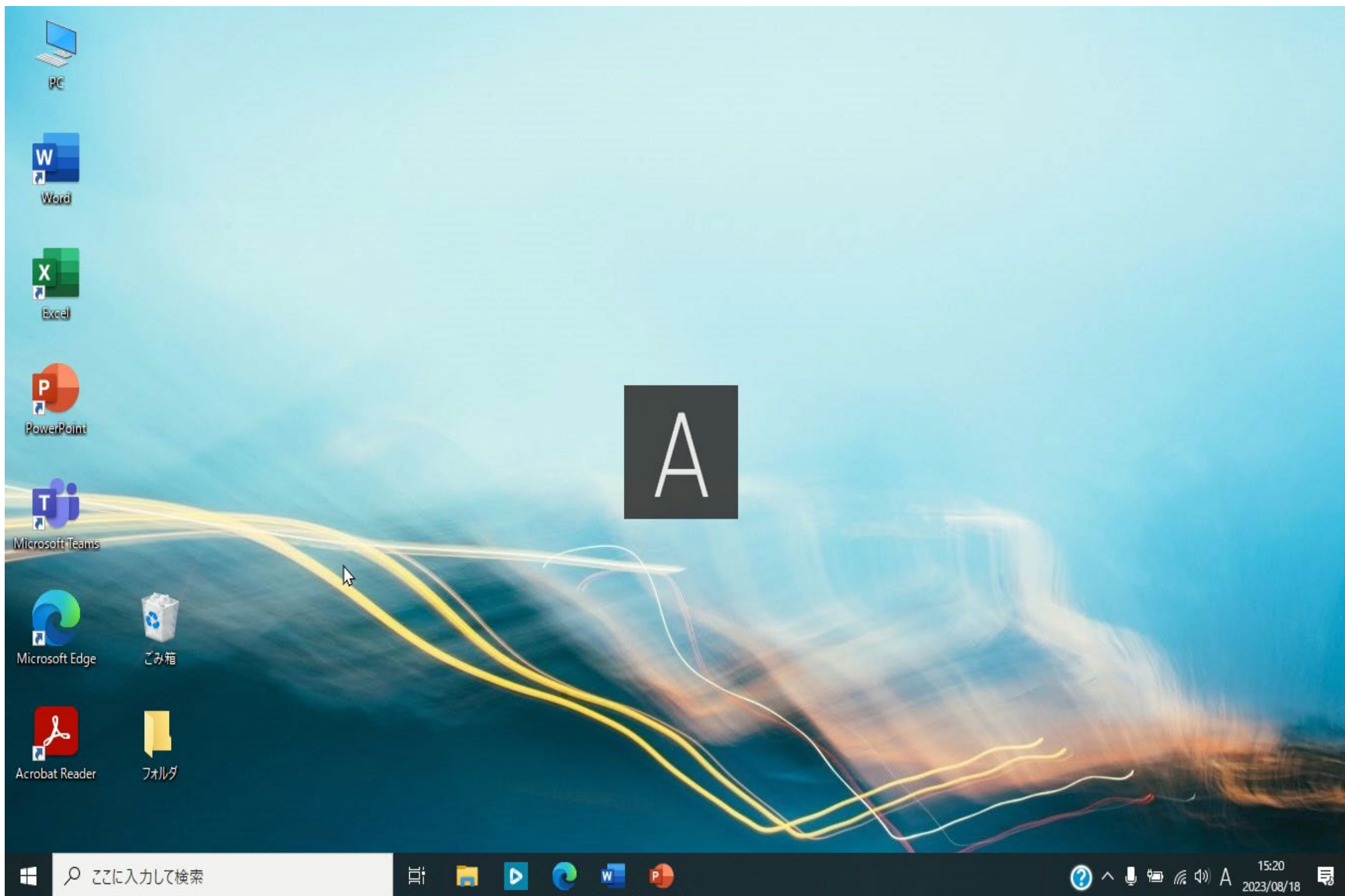


Windows ロゴ キー + Esc キー



主な効果

- 拡大して見やすくする。
- 眼精疲労を軽減する。



「Windows」をクリック



「設定」を
クリック



「簡単操作」を
クリック



「拡大鏡」をクリック



拡大鏡をオンにする
のスイッチをオン

まとめ

- ・ 対処手段として、 マーカー ポインティング 定規・ものさし
拡大鏡（ルーペ） 付箋 書見台
アシスティブテクノロジー（読み上げ、拡大鏡）
を紹介しました。
- ・ 自分の特性や担当する仕事に合う対処手段を
見つけていきましょう。

3. 活用ポイント

活用のポイント①



視聴を想定している対象者

- 高次脳機能障害者
- 高次脳機能障害者を雇用している
または 雇用しようとしている会社の方
- ご家族
- 高次脳機能障害者を支援している支援者

□ 高次脳機能障害以外の障害者

「高次脳機能障害者とは」以外の教材には、高次脳機能障害以外の障害者が視聴しても有効な教材が含まれています。
各教材の「目的と対象者」をご確認ください。

活用のポイント②



支援者が一緒に視聴する

本人が単独で視聴しただけでは、

- ・ 自分自身の状況と照らし合わせて考えることができない
- ・ 体験ワークにおいて「正解」「不正解」にとらわれ、特性の理解や対処手段の検討に結びつかない などがあります。

支援者とともに視聴することのメリット

1. 支援者との会話の中で理解を深められる

適宜教材を停止しながら、「自分と照らし合わせるとどうか？」など、支援者との会話によって、教材の意図や自分に置き換えて考える機会となります。

2. 視聴を通じ、対象者のアセスメントにつながる

教材の進む速さや、一定時間経過後の疲労等、普段の相談や作業場面では見られない対象者のアセスメントが得られる機会になります。

活用のポイント③



取り組みやすい教材を選択し、視聴できる

ファースト(1st)教材、セカンド(2nd)教材、サード(3rd)教材は、それぞれ関連性を持たせた内容になっています。



教材は、順番通り、全て視聴するの？

各教材は、それだけ見ても理解できる内容になっています。

【例】

発達障害の方に、「注意の機能」を視聴してもらった。

【例】

高次脳機能障害の自覚はない方に、「メモの取り方」だけをみてもらった。

【例】

グループワークの題材として「疲労」を参加者と一緒に視聴した。



4. 意見交換

「視聴覚教材の使い方をみんなで考えよう」

意見交換のテーマ・進め方(30分)

意見交換



テーマ

高次脳機能障害のある方と関わる中で、
あるとよいツールや支援について

1. 自己紹介
2. 進行役(1名)・発表者(1名)を決定

3. 【意見交換】

普段、高次脳機能障害のある方と関わる中で、
あるとよいツールや支援について、意見交換をお願いします。

4. 発表に向けた準備

※指名したグループの発表者は、グループで出た意見を3分程度で発表してください。

意見交換が一段落したグループは、日々の支援で感じていることや困りごとなどについて、自由に話していただいて構いません。

4. 活用事例の紹介

活用事例の紹介

(高次脳機能障害に対する認識が得られた事例)

視聴した教材「1 高次脳機能障害とは」

【視聴前の状況】

- ・言葉に詰まったり、考えていることがすぐに言葉にできない状況で、スタッフが推察しながら会話を展開していた。
- ・作業では、ミスが頻発。
- ・作業準備に時間がかかってしまう、経験した作業でも時間の見積もりがうまくできない。



Aさん

- ・軽度失語
- ・注意障害
- ・遂行機能障害

会話には少し時間がかかるが、大丈夫です！働く先でも「問題ない」と伝えるつもりです。

取り組んでもらえるとよい工夫や、会社が安心してもらえるような説明方法をAさんと検討したいけど…



スタッフ 58

活用事例の紹介

(高次脳機能障害に対する認識が得られた事例)

プログラム中盤

就職活動に向け、
自分の説明資料を作ることに…



説明って言われても
どう説明すればいいの!?

説明する材料を探すため、
一緒に教材を見ませんか？
何かヒントが見つかるかも
かもしれませんよ。



視聴中、日常生活の困っている場面として



- ◆ 間違いがなくなる
- ◆ 思っていたよりも時間がかかる
- ◆ 頭でわかっていても言葉がでない にAさんが☑



面談後、スタッフから、
Aさんが普段プログラムで見られる
状況についても改めて説明



自分では、伝わっていると思っていたし、
そんなに時間がかかっているとは思わなかった。
働く職場の人には、知っておいてもらった
ほうがいいかもしれない。



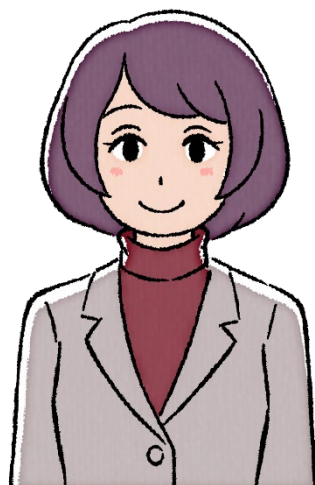
5. まとめ

視聴覚教材の活用にあたり

教材を活用するにあたって、本人から様々な反応が見られます。

- 【例】
- ・支援者が当てはまると思っている項目に、本人はチェックを付けない
 - ・記憶障害が重度で、紹介されている「記憶の技」が覚えられない可能性がある
 - ・紹介されていた疲労をためないための方法は、すべて取り入れたほうがよいか？

活用ガイドには、各教材の解説と「**活用にあたってのQ&A**」を紹介しています。
ぜひ、参考にしてください。



地域で高次脳機能障害者の支援に携わる皆様に、
本教材が活用いただき、支援の手がかりになれば
幸いです。

本教材開発と関連した支援マニュアル等(障害者職業総合センタ職業センター)

◆支援マニュアル	No.1	高次脳機能障害者への就労支援(2006)
◆ //	No.24	注意障害に対する学習カリキュラム(2023)
◆実践報告書	No.33	感情コントロールに課題を抱える 高次脳機能障害者への支援(2019)
◆ //	No.35別冊	高次脳機能障害者の就労に役立つ アシスティブテクノロジー活用ガイドブック(2020)
◆ //	No.38	記憶障害に対する学習カリキュラムの紹介(2021)

ご視聴ありがとうございました!